

「ひろしまサンドボックス」実証プロジェクト（行政提案型）の公募について

イノベーション推進チーム
都市環境整備課

1 要旨

都市環境整備課が所管する都市公園では、憩いの場、文化及びスポーツと多様なレクリエーション活動の場として県民から広く利用されており、適切な維持管理を行うため、AI、IoT等のデジタル技術を活用することで、より良い県民サービスの提供に取り組んでいるところである。

こうした中、最新のデジタルテクノロジーを活用して様々な課題解決を図るオープンな実証実験の場「ひろしまサンドボックス」のうち「行政提案型の実証プロジェクト」については、現在、昨年度選定した3つのテーマの8件の実証実験が進行中であるとともに、2つのテーマの選定手続きが進められている。

このたび、新たなテーマとして、公園内の総合的な獣害軽減対策について、実証プロジェクト（行政提案型）による公募型プロポーザルを実施することとした。

2 公募の概要

(1) 提示公募テーマ

テーマ	概要
公園内の総合的な獣害軽減対策	公園内のイノシシ被害の軽減を目的に、AI、IoT等のデジタル技術を活用した、獣害対策の総合的な計画の構築

※委託件数は2件を予定。1件あたりの委託額は2,500千円を上限。

※実証実験箇所は、県立びんご運動公園及びその周辺を予定。（公園外は、地権者等の同意が得られた場合に限る。）

(2) 公募対象者

県が提示するテーマに対し、AI、IoT等のデジタル技術を活用した技術構築を提案する者。

(3) 審査方法

総務局、環境県民局、商工労働局、土木建築局の委員からなる選定委員会において、第1次審査（書類審査）、第2次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）を実施する。

3 スケジュール

令和2年9月上旬	公募開始（県のホームページ等で公告）
10月上旬	企画提案締め切り
10月上旬～	審査・採択候補先の選定
11月上旬	選定結果の通知・公表
契約日～令和2年度末	実証プロジェクトの実施

4 その他

ひろしまサンドボックス推進協議会会員を含む県内の企業や大学、首都圏のスタートアップ企業等についても、オンラインイベントの実施により、公募型プロポーザルの実施について広く情報発信する。

なお、実証実験において新たに発生した知的財産については、広島県が利用する場合、料金を請求されない条件を付す。